



写実の
応挙、

躍動の
若冲。

円山応挙と伊藤若冲

I 期 2026年 10月17日(土) ~ 2027年 2月14日(日)

II 期 2027年 2月20日(土) ~ 6月20日(日)

[年末年始休館] 12月27日(日)~2027年1月8日(金)

[開館時間] 10時~17時(入館は16時30分まで)

[拝観料]

一般 1000円 大学生・高校生 800円 中学生 500円 小学生は無料
※一般の方に限り、20名様以上は団体割引で800円

[主催]

相国寺承天閣美術館 [協賛] 一般財団法人 万年会 鹿苑寺 慈照寺

⊕ 相国寺承天閣美術館
SHOKOKUJI JOTENKAKU MUSEUM

〒602-0898 京都市上京区今出川通烏丸東入ル TEL: 075-241-0423 <http://www.shokokuji-ji.jp>



円山応挙と伊藤若冲



薔薇文鳥図 円山応挙筆 相国寺蔵

円山応挙の作は、人間の苦難と幸福を鮮烈に描いた出世作『七難七福図巻』、緻密な色彩が光る『牡丹孔雀図』、水飛沫の轟音が響く『大瀑布図』など、自然の驚異を写實的に捉えた傑作が並びます。

一方、伊藤若冲の作は、極彩色とは対照的な『大書院障壁画』。墨の滲みで立体感を生む「筋目描」などの超絶技巧を駆使し、鶏や松鶴がモノトーンの世界で躍動します。

十八世紀、京都画壇を牽引した両巨匠の、写実と装飾の極致を展示室で体感してください。



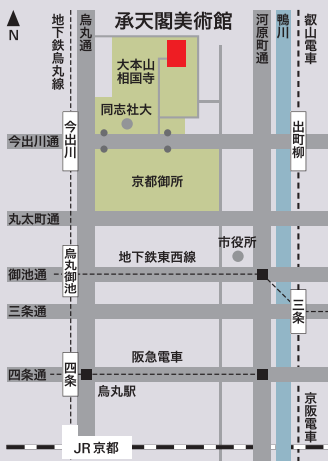
群鶏蔬菜図押絵貼屏風 伊藤若冲筆 相国寺蔵



重要文化財 七難七福図巻 天災巻(部分) 円山応挙筆 相国寺蔵



竹虎図 梅莊頭常賛 左幅 伊藤若冲筆 鹿苑寺蔵



【イベント】

記念講演会①
二〇二六年十一月二十九日(日)
十四時～十五時半

「円山応挙の生涯と芸術」
―近世京都画壇の中での存在意義―

記念講演会②
二〇二七年二月二十八日(日)
十四時～十五時半

「伊藤若冲の生涯と芸術」
―相国寺との関わりをめぐって―

講師…村田隆志氏
(大阪国際大学 国際教養学部 教授)

場所…当館二階講堂(十三時半開場)
定員…先着八十名

※イベントには当日の拝観券が必要です。



御本三島俵形茶碗 銘浅茅生箱書小堀遠州 鹿苑寺蔵